

影響により、経営に打撃を受けた市内事業者が、経営向上のための専門家の助言を踏まえ、新分野展開、事業転換、事業再構築、経営の効率化および省力化など経営向上につながる事業を実施する場合に必要な経費の一部を支援するための予算計上であり、妥当と認めました。

水産物販路拡大事業として150万5000円が計上されました。新型コロナウイルス感染症の影響により水産物の出荷が停滞していることから、松浦市、新松浦漁業協同組合、運輸業者が連携し、都市部の中規模飲食店などをターゲットとした新たな販売スキームの構築および販路拡大を図るための予算計上であり、妥当と認めました。

農業経営維持支援事業として2020万円が計上されました。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、高収益作物への影響も長期化しており、加えて従来より産地の維持、後継者育成、新規就農者確保、生産技術継承が本市の農業における大きな課題であることから、意欲のある農業の担い手が、農業用機械および生産施設の導入などを行うことにより、新型コロナウイルス感染症収束後も効率的かつ安定的な農業経営を図ることができるよう支援するための予算計上であり、妥当と認めました。

農業水路等長寿命化・防災減災事

業として1052万7000円が計上されました。近年、豪雨などにより全国で多くのため池が被災し、農地だけでなく下流域の家屋などに甚大な被害を及ぼす災害が頻発していることから、防災重点ため池において、劣化状況評価およびハザードマップの整備を図るための予算計上であり、妥当と認めました。

農地農業用施設災害復旧事業として500万円が計上されました。令和3年5月の梅雨前線豪雨により被災した農地（3カ所）の復旧工事を行い、機能回復を図るための予算計上であり、妥当と認めました。

公共土木施設災害復旧事業として1160万円が計上されました。令和3年5月の梅雨前線豪雨により被災した市道（3カ所）の復旧工事を行い、機能回復を図るための予算計上であり、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

今回の活動は、新型コロナウイルス対策のため規模を縮小し、正副委員長および議長の出席のもと、伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が、8月5日、佐々町に

おいて開催され、西九州自動車道の早期完成に向けた令和3年度の活動計画を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府および関係機関へ決議文を送付しました。

委員構成は次の通りです。

委員長	和田 大介
副委員長	宮本 啓史
委員	山崎 誠也
委員	廣美
委員	吉富 武志
委員	谷口 一星

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

8月27日および9月2日に特別委員会を開催し、これまで行ってきた意見交換会や参考人招致、理事者との協議を踏まえ、本委員会の今後の活動について協議した結果、鷹島海底遺跡の調査・研究に関して、決議を行うことを決定し、決議文を議長に提出しました。

提出した決議文「鷹島海底遺跡の調査・研究を国策により推進することを求める決議」は、今議会で議決されました。市議会としての方向性を示したものとなりますので、本委員会は、今後はこの決議をもとに活動していくこととなります。

（決議文は10ページに掲載）

委員会の構成

【決算審査特別委員会の設置】

令和2年度的一般会計決算および各特別会計決算を審査するため、9

月24日に決算審査特別委員会を設置しました。

議会目誌

8月

5日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会（佐々町）

19日◇議会改革特別委員会作業部会

◇長崎県市議会議長会臨時総会（書面会議）

23日◇北松北部環境組合議会定例会（平戸市）

24日◇長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会（長崎市）

◇長崎県離島振興市町村議会議長会臨時総会（書面会議）

27日◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会